

未来へつなぐ！清流の国ぎふの食育「保護者へのアプローチ」

事業実施主体：岐阜県

- 岐阜県では、第3次岐阜県食育推進基本計画において、次世代を担う子供と、食生活の課題が多い青年期(概ね16～39歳)を重点世代とし、生涯食育社会の実現に向けて食育の推進に取り組んでいる。
- 特に乳幼児から学童期は家庭への依存度が高く、基礎的な食習慣や食の知識を身につけるためには、何よりも家庭における食習慣が重要であるため、家庭における食育を支援した。
- 子供の食生活は保護者の影響を受けることから、保護者の食習慣等を調査するとともに、食生活の課題に基づき、子どもとその保護者を対象に食育普及啓発キャンペーンを実施した。
- 朝食を食べることを啓発するリーフレットを作成・配布した。

岐阜県



【取組の内容】

○ 食育普及啓発キャンペーンの実施

実施期間：令和元年6月～令和2年1月

実施地区：37市町村(207回)

参加者：幼児や小学生の保護者

6,743人

内容：講習会や家庭訪問等により、子供の頃からの食習慣、共食の重要性について啓発した。



食育講習会

○ 子育て世代の食習慣実態調査

実施期間：令和元年6月～10月

対象者：幼児や小学生の保護者3,324人

内容：朝食の内容、共食の状況、朝食の準備時間等、食習慣に関する調査を講習会や家庭訪問等の対面により実施(同時に朝食・共食を啓発)

○ 朝食啓発リーフレットの作成等

内容：朝食の欠食を減らすため、日本型食生活を基本に朝食の料理例などを掲載したリーフレットを30,000枚作成・配布



朝食啓発リーフレット

【取組の成果】

- 37市町村で207回実施した食育普及啓発キャンペーンでは、参加した幼児や小学生の保護者から「自分自身の食事を見直すことが出来た」、「子供と一緒に食べることの大切さが分かった」といった感想が聞かれ、子供たちへの望ましい食生活習慣の推進が図られるとともに若い世代に食への関心を深めてもらう取組となった。
- 食習慣実態調査結果より、家族との共食が、主食・主菜・副菜の揃った栄養バランスの良い食事がとれる傾向にあることが確認できた。
共食は、食事を楽しむことだけでなく、栄養面からも有意義であることがわかり食育普及啓発の貴重な資料が得られた。
- 朝食の啓発リーフレットを各種イベントや食育教室等で配布し、県民への啓発を行った。



食習慣実態調査

○ 食習慣実態調査結果(令和元年度調査)

<朝食の共食状況と食事内容>

